

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	教育委員会 生涯学習課	関連部課名
---------------------	-------	----------------	-------

基本目標	こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり【教育・文化】
------	--------------------------

施策名	生涯学習
-----	------

誰もが気軽に生涯学習活動を楽しみ、地域を担う人づくりを進めるために、生涯学習ニーズの把握や活動の応援体制の強化、活動拠点及び学習機会の充実、学校や地域・各種団体との連携を通じた特色ある生涯学習活動などの取組を推進します。

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

- 地域に根ざした生涯学習活動がまちづくりへと広がっています。
- 生涯学習ニーズの把握と活動の応援体制により、だれもが生涯学習活動の第一歩を踏み出しています。

◆具体化した施策の取り組み実績

1 自発的な生涯学習活動の推進

項目	平成26年度実績				平成27年度実績				平成28年度計画													
生涯学習講座 ※受講者数は延べ人数	講座数	17	実施回数	35	受講者数	435	人	講座数	16	実施回数	28	受講者数	304	人	講座数	8	実施回数	14	受講者数	254	人	
	スマートフォン・タブレット講座		8		113			バスステルアートセラピー(2講座)		3		78			ハワイアンリトミック講座		1		24			
	キッズ・ジュニア新体操体験講座		2		40			キッズ・ジュニア新体操体験講座		2		27			キッズ・ジュニア新体操体験講座		2		40			
	やさしい帯結び講座		2		30			シニアのためのスマホ講座～カメラ編～		4		35			エコライフでDIY		1		20			
	オリジナルアロマキャンドル講座		1		14			トラベル 英会話講座		3		31			フラワー×生活		2		40			
	他13講座実施				238			他11講座実施				133			他4講座実施				8			130
	出前講座	講座回数	290	回	受講者数	17,951	人	講座回数	259	回	受講者数	11,421	人	講座回数	270	回	受講者数	13,500	人			
GCSL登録・派遣事業	登録数	93	人	活動状況	5	人	登録数	91	人	活動状況	14	人	登録数	88	人	活動状況	20	人				
文化振興事業(市文化協会への支援)	部門	20	団体	会員	2,195	人	部門	20	団体	会員	1,992	人	部門	20	団体	会員	1,909	人				
”(市民文化祭開催への支援)				参加者数	2,429	人				参加者数	2,857	人				参加者数	2,500	人				
成人学級(家庭教育学級)	学級数	1	開設数	8	受講者数	208	人	学級数	1	開設数	8	受講者数	194	人	学級数	1	開設数	8	受講者数	400	人	
”(女性学級)	学級数	3	開設数	27	受講者数	835	人	学級数	3	開設数	26	受講者数	1,071	人	学級数	3	開設数	26	受講者数	1,120	人	
”(高齢者学級)	学級数	6	開設数	59	受講者数	3,713	人	学級数	7	開設数	60	受講者数	3,754	人	学級数	7	開設数	60	受講者数	5,214	人	

2 学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進

項目	平成26年度実績				平成27年度実績				平成28年度計画																	
学校開放講座	4校	各	3～6	回	受講者数	298	人	4校	各	2～4	回	受講者数	254	人	4校	各	3	回	受講者数	200	人					
東三河連携講座	(5市2町7講座)当市	1	講座		39	人	(5市2町7講座)当市	1	講座		42	人	(5市2町7講座)当市	1	講座		50	人								
愛大市民教養講座	講座回数	2	回	受講者数	50	人	講座回数	2	回	受講者数	48	人	講座回数	2	回	受講者数	80	人								
生命の海科学館	連携(協力先)	個人	62	官公庁団体	37	高校大学	16	企業	18	個人	54	官公庁団体	31	高校大学	16	企業	18	個人	51	官公庁団体	35	高校大学	16	企業	18	
	教育活動(館内ワークショップ等)	講座回数	330	回	受講者数	12,850	人	講座回数	399	回	受講者数	21,932	人	講座回数	369	回	受講者数	16,700	人							
	出前講座	講座回数	83	回	受講者数	6,141	人	講座回数	122	回	受講者数	8,389	人	講座回数	100	回	受講者数	7,603	人							
	学校等団体観覧	回数	171	回	受入数	7,764	人	回数	173	回	受入数	7,043	人	回数	190	回	受入数	8,600	人							
各種団体との連携	蒲郡市子ども会連絡協議会	スポーツ大会			500	人	スポーツ大会			500	人	スポーツ大会			500	人	青空まつり			500	人					
	青空まつり				500	人	青空まつり			500	人	青空まつり			500	人	夏(1泊2日キャンプ)	参加者数	86	人						
	夏(1泊2日キャンプ)	参加者数	86	人	夏(1泊2日キャンプ)	参加者数	66	人	夏(1泊2日キャンプ)	参加者数	80	人	冬(1日体験)	参加者数	66	人	冬(1日体験)	参加者数	70	人						
	冬(1日体験)	参加者数	66	人	冬(1日体験)	参加者数	70	人	冬(1日体験)	参加者数	70	人	小学生	4年	17	5年	15	6年	9	小学生	4年	8	5年	11	6年	14
	少年少女発明クラブ(愛知工科大学)	小学生	4年	17	5年	15	6年	9	小学生	4年	8	5年	11	6年	14	小学生	4年	8	5年	7	6年	7				
	中学生	1年	0	2年	1	3年	2	中学生	1年	2	2年	0	3年	0	中学生	1年	4	2年	0	3年	0					
	講座回数	13	回	参加者数	44	人	講座回数	13	回	参加者数	35	人	講座回数	13	回	参加者数	26	人								
子育てネットワーク協議会	子育てネットワークカーボランティア数	17	人	子育てネットワークカーボランティア数	18	人	子育てネットワークカーボランティア数	18	人	前期	10	回	参加者数(組)	30	組	前期	10	回	参加者数(組)	30	組					
親子ふれあいひろば	前期	10	回	参加者数(組)	30	組	前期	10	回	参加者数(組)	30	組	前期	10	回	参加者数(組)	30	組								
※H25後期は台風のため1回分中止	後期	9	回	参加者数(組)	30	組	後期	10	回	参加者数(組)	30	組	後期	10	回	参加者数(組)	30	組								
幼児教室	講座回数	2	回	参加者数	140	人	講座回数	2	回	参加者数	152	人	講座回数	3	回	参加者数	190	人								

3 公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流

項目	平成26年度実績				平成27年度実績				平成28年度計画			
公民館生涯学習講座	開設数 45	延べ定員数 779人	参加者数 793人		開設数 51	延べ定員数 641人	参加者数 892人		開設数 51	延べ定員数 629人	参加者数 629人	
公民館・地域との連携事業（公民館まつり）	実施館 11館		参加者数 10,978人		実施館 11館		参加者数 13,676人		実施館 11館		参加者数 12,650人	
（地域体育祭）	開催数 8館		参加者数 12,547人		開催数 8館		参加者数 10,022人		開催数 8館		参加者数 11,700人	
（子ども向け体験型教室・講座）	開設数 31教室		参加者数 2,289人		開設数 30教室		参加者数 2,537人		開設数 35教室		参加者数 3,000人	

4 学習活動からまちづくりへの展開

項目	平成26年度実績						平成27年度実績						平成28年度計画					
蒲郡俊成短歌大会（一般の部） ※H27年度は第30回の記念大会として 題詠部門も実施	投稿状況					当日 入場者数	投稿状況					当日 入場者数	投稿状況					当日 入場者数
	都道府県数	市内	県内	県外	合計		都道府県数	市内	県内	県外	合計		都道府県数	市内	県内	県外	合計	
	43	42	304	292	638	300	自由題 46	41	341	382	764	400	47	39	294	362	695	400
関連団体・施設との連携による周知活動	自治体 0	関連施設 62	文化協会 54	計 116		自治体 2	関連施設 62	文化協会 53	計 117		自治体 2	関連施設 62	文化協会 54	計 118				
蒲郡俊成短歌大会（市内小中学生の部）	未実施						未実施						小学生 1,009	中学生 1,212	合計 2,221人			
公民館事業全般	市内11公民館事業 延べ参加者数 280,587人						市内11公民館事業 延べ参加者数 283,480人						市内11公民館事業 延べ参加者数 281,000人					

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	将来目標
生涯学習講座の定員充足率	目標値	80%	80%	80%	80%
	実績値	82%	75%		平成32年度
生命の海科学館 各種団体との連携による講座等の充実	目標値	130	120	120	120
	実績値	133	119		平成32年度
公民館子ども向けの体験型教室・講座の実施状況 〔開設数/参加者数〕	目標値	35教室/3,000人	35教室/3,000人	35教室/3,000人	44教室/4,000人
	実績値	31教室/2,289人	30教室/2,537人		平成32年度
短歌大会を通じた、関連団体・施設との連携による蒲郡市のアピール 〔連携先数/投稿都道府県数〕	目標値	116/47都道府県	117/47都道府県	118/47都道府県	120/47都道府県
	実績値	116/46都道府県	117/46都道府県		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
生涯学習講座の定員充足率	参加率(定員充足率)。学習機会のシーズとニーズのマッチング度を測る。
生命の海科学館 各種団体との連携による講座等の充実	連携先数。生命の海科学館における講座開設及び内容の充実を図る上での各種団体や地域などとの連携度合いを測る。
公民館子ども向けの体験型教室・講座の実施状況	開設数、参加者数。地域における生涯学習活動への関心度と地域住民ニーズの充足率を測る。
短歌大会を通じた、関連団体・施設との連携による蒲郡市のアピール	連携している関連団体・施設数及び投稿のあった都道府県数。短歌を通じて市外及び県外の方へ文学のまち蒲郡を浸透度合いを測る。

◆指標の分析

<p>「自発的な生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座は、幅広い世代の市民の多様化している生涯学習ニーズに対応できるように講座数・講座内容等の充実が図られつつある。 <p>「学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命の海科学館に関する事業は、個人レベルで若干減少傾向にあるものの、高校や大学・企業など引き続き多くの連携先によって支えられている。 <p>「公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、公民館が所在する地域の多くの人たちに利用されている。他にも、地域に在住する大学のOBの先生たちのグループや公民館利用者を講師に迎え、子ども教室を開催し多くの子どもたちが参加している。地域で子どもを見守り育てている。 <p>「学習活動からまちづくりへの展開」</p> <ul style="list-style-type: none"> 俊成短歌大会は、全国各地の関係施設・団体との協力、告知方法(媒体誌)の見直しなどを行い、投稿数のペースアップが図られている。46都道府県からの投稿があるなど、全国的にも有数な短歌大会の一つとして「文学のまち蒲郡」の知名度が上がっている。

◆今後の方針

<p>施策の課題</p>	<p>「自発的な生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座は、時代の流れに応じた幅広い世代の市民の生涯学習ニーズに常に対応できるように、講座内容、講師の確保を図る必要がある。ここ数年様々な講座に取り組んできたが、要望を受けて開設した講座でもあまり集まらなかったケースもあり、満足度の高い講座にするためには、よりニーズの見極めが重要となる。 <p>「学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある講座内容を提供していく上で、活動の補助をいただく諸団体等の連携先はもとより、ボランティアの確保など人と人とのつながりを大切にしていくという観点が生涯学習活動を推進していく上で重要な課題である。 生命の海科学館については、会場確保や人的コストの配分の観点から、見直し検討依頼増え続けている(平成23年に比して1.8倍)学校等団体来館を対象とした教育活動とのバランスを検討しながら、連携によるソフト事業(ワークショップ等活動)の回数を設定する必要がある。団体来館の伸び率が高いことを鑑み、連携によるソフト事業の回数を一定数に抑えつつ、アンケートなどの活用により質の向上を目指す。 <p>「公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館利用者は、固定化の傾向にあり、新規利用者(特に若年層)の獲得が必要である。しかしながら、固定化された利用者の中に入りにくいという声や、趣味趣向が多様化している中、昭和40年・50年代の建物での活動に抵抗感があってか、単に公民館の努力(事業内容・取り組み)だけでは非常に厳しい面がある。また、蒲郡市の公民館の特性として、社会教育施設というよりは、地域の行事を引き受けている(引き受けざるをえない)地区公民館という色が濃く、地域と非常に強い結びつきがあるという良い面がある一方で、職員のマンパワーが地元行事に割かれるなど、生涯学習事業を行う上では負担となっている面もある。 <p>「学習活動からまちづくりへの展開」</p> <ul style="list-style-type: none"> 俊成短歌大会は、著名な選者の方たちのご協力だけでなく、文化協会短歌部会の方たちの協力も大である。しかし、現在、応募作品の校正をお願いしている短歌部会員の高齢化が大会運営に影響を及ぼし始めている。また、H28年度(第31回大会)より始めた市内小中学生部門については、小中学生に郷土を思う心を養って欲しいとの目的より始めたものであるが、恒例的なものとして定着できるよう取り組む必要がある。
--------------	---

<p>今後の施策展開</p>	<p>「自発的な生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に対するニーズ把握を的確に行うための情報収集および、参加しやすい講座の実施・運営に努めていく。 <p>「学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 人的財産の有効活用を引き続き大切にすることが重要である。 親子ふれあい広場や幼児教室などの際に託児に協力していただいている子育てネットワーク等ボランティアの確保も重要な課題であるが、現在、ボランティアの養成は、愛知県などが実施する養成講座を利用している。今後も継続してこのような講座が開催されるとは考えにくく、将来的には、質の良いボランティアの確保には、自前でのボランティアのスキルアップのための教養講座等を行うことが必要である。 生命の海科学館事業に関しては、現状で市民や企業との連携により理科に親しんでもらうための活動を広く展開しているが、さらに幅広い年齢層の参加者の「より深く学びたい」というニーズに応え、連続的に学べる講座や、大学等研究機関との連携による最先端の科学に関する教育普及活動を開催していくことが必要である。 <p>「公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公民館＝高齢者が利用」ではなく、「公民館＝地域コミュニティ」であることをもっと地域に発信し、地域の人達が気楽に集えるような利用方法を提案する。しかし、将来的には、施設の老朽化を考え、公共施設の整備・見直しが重要となる。 <p>「学習活動からまちづくりへの展開」</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小中学生に対しては、俊成卿の愛した短歌に親しみ、郷土を愛する豊かな心を育む機会として定着するために学校現場と連携して取り組む必要がある。
----------------	--

課長評価	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	生涯学習活動を推進する上では学習機会の充実と活動場所の充実が重要である。学習機会の充実の観点から生涯学習講座に関しては、時代の流れに応じた幅広い世代の市民の生涯学習ニーズに常に対応できるように、講座内容、講師の確保など必要と考える。その為には、公民館、学校、地元関係団体・大学・民間企業などのこれまで以上に連携・協力が必要となり、ボランティアを含め講師などの充実、養成が必要である。活動場所の充実に関しては、拠点施設の建設をうたっているが、公共施設の見直し検討委員会での方針を踏まえ策定していく必要がある。 また、生命の海科学館では、企画展、ワークショップ等ニーズに応じた取り組みを展開しており、新規の講座の開設及び内容の充実を図る上で、地元企業・大学・各種団体と引き続き連携をしていく必要がある。

部長評価	施策の 進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	生涯学習講座において担当職員の減少により講座数を減らしてはいるが、利用者ニーズを的確に捉えることで、内容の充実を図り満足の高い講座になるよう改革を行っている。より充実した学びの機会を提供するため公民館、学校、地元関係団体・機関等に加え大学等の高等教育機関、民間企業・団体等との連携・協力、更には質の高いリーダー及びボランティアの養成が必要となる。 また、地域に根ざした生涯学習活動をまちづくりへと広げるためには計画的な取り組みが必要であり、そのためには新たな時代にあった「蒲郡市生涯学習推進計画」を早急に策定しなければならない。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
5-2	生涯学習課	501	社会教育審議会等設置事業	337	1,596	0.20	B	ア	—	×
5-2	生涯学習課	502	生涯学習市民大学事業	210	2,887	0.55	B	カ	1-4	○
5-2	生涯学習課	503	生涯学習のまちづくり推進事業	160	1,881	0.35	B	カ	1-4	○
5-2	生涯学習課	504	社会教育団体育成事業	450	4,206	0.55	B	オ	—	×
5-2	生涯学習課	507	子ども会育成事業	1200	2,636	0.50	B	オ	—	×
5-2	生涯学習課	510	家庭教育推進事業	3,460	3,915	1.45	B	オ	1-2	×
5-2	生涯学習課	511	子ども交流事業	300	3,235	0.55	A	カ	—	×
5-2	生涯学習課	513	公民館管理運営事業	78,277	5,498	1.25	B	カ	1-4	○
5-2	生涯学習課	514	公民館施設整備事業	9,541	2,497	0.40	B	ウ	1-4	○